

自己マネジメント研修レポート

令和元年8月2日(金)、採用1～2年目の方を対象に自己マネジメント研修を行い、新規採用事務職員21名が参加しました。この研修は、ステージⅠ（基本的力量形成期）にあたり、自己マネジメントの手法を学び、事務職員として必要な資質能力を養うことを目的としています。講師には、小山市立旭小学校 志水由美子 事務長と足利市立けやき小学校 神山千恵 主事をお迎えしました。

ステージ別研修では、自分で考え、課題を見付け、学校での実践につなげられるように、事前課題（Actionシート①）→研修・ふりかえり（Actionシート②）→事後課題（Actionシート③）の流れで研修を行っています。今回の研修の事前課題は、「どのような事務職員になりたいか」「現在、抱えている課題や悩み」「自分の長所（得意なこと）、短所（苦手なこと）」を書き出してくることでした。研修の内容は、以下のとおりです。

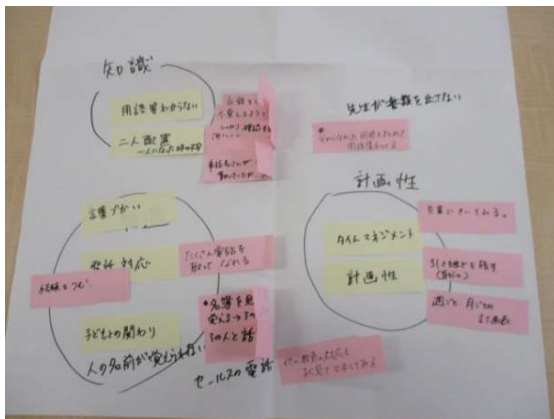
- ① 課題の共有(事前課題)
- ② 自己マネジメントとは
- ③ 課題解決策を考える（1）
- ④ 先輩の経験談
- ⑤ 課題解決策を考える（2）

まず始めに栃事研猿橋副会長から、「栃事研活動の概要」と「研修の体系化」についての説明がありました。栃事研の組織や活動について改めて説明を聞くことで、受講者ひとりひとりが栃事研組織の一員であることを再確認しました。



志水事務長の講義ではまず初めに、事前課題として書いてきた「現在、抱えている課題や悩み」をグループ内で共有し、話し合いました。課題の中には、「消耗品の管理が難しい」「先生からのサービスや予算に関する質問に対して分からないことが多く答えることができない」「文書の整理・分類がうまくいかない」等の課題や、「複数配置のため異動が不安」などの複数配置特有の悩みなども挙げられました。受講者同士、共通する課題も多くあったようで、自分だけではなく他の学校でも同じことで悩んでいるということも分かり、共感し、うなずきながら話し合っている様子が多く見られました。

その後、自己マネジメントについての講義がありました。「マネジメント」とは、求める目標に向かって効率的・効果的に動くために資源を統合し、調整することであり、その中でも「自己マネジメント」とは自律的・主体的に行動し、他者と協働して組織貢献し続けることであり、そのために実際に仕事を進めるにあたって知っておくべきことや、自己マネジメントの4つのポイント「仕事の管理（タスクマネジメント）」「時間の管理（タイムマネジメント）」「自らの心身の調整（コンディショニングマネジメント）」「最適な協働関係（コラボレーションマネジメント）」についての説明がありました。



講義の次に、グループ演習として共有した課題に対しての課題解決策を各グループで考えました。付箋に課題解決策を書き、説明を加え、発表しながら挙げていきました。グループで意見を出し合うことにより、自分では気が付かなかった解決策や、一つの課題に対しても、視点を変えた意見や気付きが出るなど、どの班においても活発な話し合いができました。

先輩事務職員からの講義では、足利市立けやき小学校 神山千恵 主事が「報恩謝徳一感謝の気持ちを忘れずに」と題して、自身が初任の時に抱えていた悩みや課題をどのように解決したか、また、初めて経験した異動、目指す事務職員像等について話していただきました。神山主事は、先生方とのコミュニケーションを取ることが苦手という悩みを克服するために、「毎日全教職員に自分から話しかける」という目標を立て、自分の強みを生かしながら実践することで、コミュニケーション能力の向上や先生方との関係性を深めることができたそうです。また、仕事を覚えるために、給与の手引きや例規集を使ってとにかく自分から勉強することや、実際に経験した事務処理の記録を取って蓄積することで後から振り返れるようにしたことなど、自らの実践を話していただきました。おわりには、「最初は分からないのが当たり前、失敗するのが当たり前。周りの人たちと協力し合って解決していくことが大切、全ては子どもたちのためになる」、と参加者にエールを送っていただきました。

最後のグループ演習では、講義で学んだマネジメントのポイント、神山主事の話ヒントにしながら、自分の解決すべき課題について、解決に向けたより具体的な実践目標を立てました。ここで立てた目標は、事後課題として実際に学校や共同実施組織等で実践してもらうこととなります。研修の終わりに講師からは、小さな目標を積み重ね達成していくことが、目指す事務職員に近付くための大切なプロセスです。学んだことや、身に付けたことは勇気をもって実践・実行してくださいとお話がありました。



受講者がこれから課題解決をしていく実践の過程では、気付きやつまずき、新たな課題の発見等があるかと思います。栃事研では支部や共同実施組織で、その実践・行動をサポートし合いながら人材育成をしています。実践した内容・過程、感想等については、Actionシート③に記入し、5か月後に提出していただきます。今回の研修で学んだことを学校で活かしていただき、目指す事務職員の姿に向けて、一步一步、確実に進んでいってほしいと思います。